

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返 and 期間限定複数年度.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(費目等), ② 延べ業務時間の内訳. Includes items like 会議費, 事業費, 事務費, 維持管理費, 会議, 商品開発, etc.

Table with columns for 事業費内訳 (国庫支出金, 都道府県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計). Includes a total cost row at the bottom.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping 手段 (Main activities, targets, upper-level goals) to 指標 (Activity indicators, target indicators, upper-level result indicators) with columns for years 21-26.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? (Start triggers), ② 事務事業を取り巻く状況 (Context changes), ③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望 (Stakeholder feedback).

事務事業名	米の力再発見事業	課名	農水産課	班名	振興班
-------	----------	----	------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ 農業者が米の生産を継続することを、商工業者が連携・支援できる仕組みをつくることで相互の活性化を図る。また主食以外の利用方法を見出し、米の消費を維持させることができる。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 米の消費拡大と食糧自給率を向上させるためには、現在旭市にある農業者の生産力を継続させ、商工業者の開発力・販売力を活用、更に高めることで消費者(市民)の食生活に地域に関わる、この一連の流れを継続することが目的達成につながる。
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ ・販路や取り扱い店を確保するには、行政では限界があり、商品開発についても、取り組む事業者が商品化できるまでの関与とし、いずれも事業者主体ですすめるためには、協議会の組織と活動内容を見直すことが課題である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 活動の中で関係者が商品の販売に対して消極的である。米粉の製造・販売は順調であるが、商品に結びついていない。商業者が主体となって取り組まなければ流通できず、成果は得られていない。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ 3年間の活動で、行政と現在の組織でできる取り組みは、ほぼ終わっている。方向性を決め、それにあった組織に見直し、事業主主体で推進する方向へ転換をする。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ・商品開発・PR等は、商工業者を主にした事業で進める。 ・料理教室は、生涯学習の講座やそのほか既存の教室、児童・生徒対象教室などで米粉料理を取り入れる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) ・委託に頼った商品開発でなく、各商業(飲食店・製菓業など)の持っている技術力・販売力を活用して開発。 ・学校給食への提供は、給食の予算の中で実現できるメニューへと切り替える。 ・米粉を提供するだけの取り組みは縮小する。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ ・⑥の方法で商品開発・PRについては農商工業者主体で活動。料理教室については他事業の協力を得る。 ・H25～米粉製粉機の維持管理をするための臨時職員を予定しているが、隣接するコミュニティーセンターと製粉機を設置してある加工センター自体を一括管理することで削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 米粉への取り組みを行っているのは農商工業者の一部に限られている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	米粉を商品化するには原価が高いことがネックとなってしまふ。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:食育関連事業との連携) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
① 米粉の流通・販売方法の見直し ② 商品開発等に商工業者等の活力を生かし販売に繋がる取組みとする。 ③ ④																						
(4) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
① 安価な米粉を供給するための米の生産 ② 商工業者への米粉商品開発のための支援 ③ ④																						